

桑田透一 くはた とういち 水産史家。明治七年十一月廣島縣生れ（二七四一）。

明治二十五年東京專門學校政治經濟科卒。農商務省、東京・大阪兩商業會議議の囑託として南洋方面を視察。歸朝後大阪毎日新聞社入社。

のち大日本捕鯨株式會社に轉じ、四十一年東洋捕鯨株式會社に合併後は取締役兼支配人となる。水産史に造詣深く、著述を能くした。

著書に『鯨族開國論』（昭和十五年九月二十日書物展望社）、『海海の先覺者

藤川三溪傳』（昭和十五年十月一日水産社）、『開國とペルリ』（昭

和十六年八月二十日日本放送出版協會「ラジオ新書」）、『水産日本』

（昭和十七年十月九日大日本雄辯會講談社）、『概観日本水産史』（昭

和十八年二月五日海と空社「海と空の叢書」）、『海洋憧憬』（昭和

十八年七月一日寶雲舎）等。

